

とある
男子高校…

あゝ細ちゃん
可愛いなあ……

今回の水着グラビア
ヤバ可愛いよな！

意外とおっぱい
デカいんだよな♡
めっちゃシコったわw

ば、バカ！
そんなんじゃ
ねーんだよ！

この清楚な顔…男とかも
まだ知らないんだろーな…
はあ…細ちゃん…
俺が守ってやりてえ…

わかる……

グラビア撮影時の
スタジオ控室…

アレ？監督
細ちゃんは？

しばらく待ちだる
屑田社長が来てる

ああ…

おらっ♡
おらっ♡
今日もスケベな
まんこやなあ細ッ♡

ワシのザーメン
注がれた状態で
撮影してもらえや♡

あんっ♡あんっ♡
やつ！そんなんっ♡

全員休憩だ！あの人
はやり始めると長いからな…

いいなあ俺も
細ちゃんとハメてえ♡





その言葉に怯えた
紬は必死で撮影に励み

撮影は順調に進み
グラビア也大評判となった...



高級ホテル
VIPルーム——

あっ♡あっ♡
あっ♡あん♡

撮影ッ！興奮したやろ？
おらっ♡おらっ♡

そんなっ...♡

スタッフも監督も
みんなスケベな目で
ギラギラしとったでえ♡
紬をハメたいハメたい
いう目えしとったわ♡





・屑田戸助兵衛 (54)

- ・大阪の超金持ち社長。ガサツで無神経だが知恵は回るし計算高い。アイドルを喰うのが大好きな屑。
- ・好みのアイドルを探して喰う為に芸能関係のあらゆる分野に出資している。
- ・従順で古風なタイプが大好きで黒髪清楚系を喰い漁って来たが、銀髪で大和撫子な紬に衝撃を受け一目惚れ。
765プロに仕事が回らないように仕向けて紬に枕営業させることに成功する。
- ・自分のモノにした女をひけらかして所有欲を満たすのが好きで、よく仕事中に現れてセクハラやキスしているところを見せつけたり楽屋でセックスしている。
人前で性行為をさせられたアイドルも大勢いるというウワサ。
- ・ハメた女の子の事後の姿を撮影するのが好き
- ・女漁りを止めるつもりはないが紬の事は本気で惚れていて生涯初めての嫁として迎えることを勝手に決めていて、嫌がる彼女に執拗につきまとっている。



・白石紬 (〇7)

- ・765プロの人気アイドルで大和撫子両親に大事に礼儀正しく育てられた。
- ・とあるきっかけで上京しアイドルになるが事務所が経営難に。事務所と仲間のために枕営業の仕事を受ける。
- ・屑田のようなガサツな人間が苦手
- ・性的な知識や経験に乏しく、大事に守ってきた貞操や身体を屑田社長に好き勝手にされてしまう。
- ・心で屑田の事を嫌悪しながらも妙に真面目過ぎる性格が災いし事務所を救ってくれたことを感謝したり、純潔を捧げた相手には付き従わなければ…と考えてしまっている。
- ・美しい銀髪と顔立ちで凛とした風情があるが、身体は胸も尻も大きく敏感。男を喜ばせるいやらしさも持ち合わせている。

撮影スタッフさん達は私たちの行為が一段落するまで待たされます…

私が可愛そうだと言うと

「ほんならアイツらにもハメてるとこ見せたらかw? みんな喜ぶで♡」

と全く笑えない冗談を言われました

こんな方に自分の初めてを捧げたのかと思うと情けなくて涙が出てきます

ああ…スタッフさん達が皆こちらを見ています

当然です
屑田社長が持つてくるお仕事は基本的に女性のスタッフが一人もいません

プロデューサーの随伴も許されなため私はいつも大勢の殿方に囲まれ全員から常にジロジロと見られているのですから…

47

撮影が再開しても気が休まることはありません

例え撮影現場でも屑田社長はすぐに私の身体に触って来ます

屑田社長もそれをわかってこうして私を恥ずかしめて楽しんでるのです
本当に最低な方…
私は絶対にこの方が好きになれないでしょう

「今日の水着、一段とスケベで似合ってるで♡細い♡」
きつと褒めてくれるつもりなのでしょう…
今から仕事だと言うのに乱暴な指使いで私の秘所を執拗に弄って来ます
撮影の為に集中していた私の身体は急に先ほどまでしていた淫乱な行為を呼び起され震えてしまいます…

ズンズンズン

ズンズンズン

ですが…
そんな最低な殿方の言葉に私は動揺し私の身体は過敏に反応してしまい…
それを自覚して心はより波うちます…

ズンズンズン

こんな姿…
アイドルの仲間にも両親にも絶対に見せられない

社長のつまらない軽口や冗談が実際に行われた時を想像する度私の心臓は恐ろしく大きな音を奏で素早く振動してしまうのです…

私ははしたない女じゃない…
自分にそう言い聞かせます…

頂いたお仕事を頑張らなければ
気持ちを切り替えて撮影に励みます

グラビアの撮影は：正直恥ずかしいです：
破廉恥なポーズを要求する
監督さんの指示に従い大勢の前で
あられもない姿を晒します
何が良いのでしょうか：

でも同世代の方含めた殿方に
大好評だそうです。
私には：わかりません：

撮影が無事に終わりました
スタッフさん達に挨拶をし現場を離れますが

：私はまだ：
事務所やシアターに帰ることはできません

屑田社長のリムジンに乗ると
高級ホテルのVIPルームに連れて行かれます

都内を一望できる
大きく豪勢な部屋に入ると、
屑田社長に服を強引に脱がされ
裸にされ、すぐにまた
性行為を強要されます

風情も何も
ありません……

たった数時間ぶりだというのに
待ちきれなかったと言わんばかりに
社長は背後から乱暴に腰を
叩きつけ、動物のように身体を
重ねてきます…

この方の性欲に際限はないのでしょうか……

客

盛り上がった来ると
屑田社長は必ず
私をからかって
更なる興奮を
得ようとしています…

ばん

大概が私に対する
不埒な言いがかりですが
言い返しても喜ばせる
だけなのですがつい私も
反応してしまいます

この時も反論するな
ときつく叱られ
胸を乱暴に
弄られました…

社長は私の
胸がかなり
お気に入りな
ようで…
この日も執拗に胸を揉みしだき
ながら後ろから…何度も…

む ぐ ぐ ぐ

ばん

殿方は何故こんなに女性の胸が
好きなのでしょう

正直私にはわかりません…

でも社長に激しく突かれながら
胸の先端…その…乳首を乱暴に
弄ばれると…
脳がびりびりとして…

それだけで気をやってしまいます…
社長はその度喜びながら

「お前は本当にスケベな身体しとる
こんないやらしいメスは初めてやで♡」

と言って私をからかいます

他の女性の方はどうなのでしょう

もし社長の言うとおりなら
私がそんなはしたない女だと
いうなら…恥ずかしくてもう
お嫁にはいけません…

社長の雄々しく
太くて硬い逸物が私の中で
暴れています

おや

射精が近いのでしよう
そんなこともわかるよう
なってしまった…

一般の殿方と比べて本当に
社長のモノが太くて硬いのかは
知りません
私は屑田社長のしか見たことが
ありませんし…

この方としか…
交わったことがありません

ばんばんばんばん

ぐ ぐ ぐ ぐ

ぐ ぐ ぐ ぐ



社長は私に覆いかぶさり、肌を密着させながら大きく激しい動きで私の中をかき回します…
嫌悪しているのに…大嫌いな殿方なのに…
肌の暖かさに…お腹の奥の熱さに浮かされて…私も社長に自ら密着して唇を重ね合わせて彼の全てを受け止めます…

いつか愛する人ができた時…その方が私が守ってきた全てを捧げよう
そう思っていた私の心も身体も全て屑田社長の醜悪な逸物と激しい性行為で粉々に打ち砕かれてしまいました…

悔しくて悲しいのにどうしようもなくこの方との情交がきもちいい…

怖い…
私は…どうなってしまうのでしょうか…

ズ
ズ
ズ



屑田社長は中に出した後の女の子を撮影するのが好きで…信じられない下衆な行為だと思いつつも写真撮られます…

（毎回プロデューサーにこれを送ってやっているとからかいながら言ってきます…）

私のこんな姿…あの方が見ているのかと思うと恥ずかしくてシアターに行くのが…億劫になります

私の家…765プロライブシアター…シアターを守るのなら私は…この方の言う事をなんでも…



そんな私の気持ちなど知ったことかと社長は…

どろどろになった逸物をじゃぶれと私に命令します



最初は気持ち悪くて仕方なかったこの行為…
ん…
それも今は少しづつ…